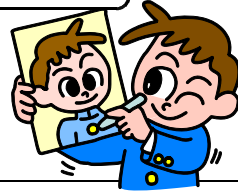


内 容



学期・月	教材名	学習活動
1 学 期	4 オリエンテーション	・美術の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。 ○見通しをもち積極的に取り組むことを目指します
	5 絵画・心象風景 スクラッチグラス 「不思議な世界」	・自分の心の世界の構想にふさわしいモチーフを身近な物や自然の中から観察してスケッチする。 ・スクラッチグラスの技法を理解する。 ・不思議な世界のために①組み合わせの転換②大きさの転換③素材の転換の3つを用いて自分の心の世界にふさわしい構想をし、制作する。
	6	
	7	
2 学 期	9 デザイン 「大好きな人に贈る・ グリーティングカード」	・贈る相手に気持ちを伝えるために、配色や、モチーフや動く仕組みを工夫し、贈る相手に喜んでもらえるカードを構想、制作する。 ・動く仕組みを理解して、完成予想図を書き、計画的に制作する。
	10	
	11 12	
3 学 期	1 彫刻・マイワールド 「私の心の代弁者 ・メインキャラクター」	・ボックスアート制作の主役である、心の世界を表現するのにふさわしいモチーフを立体的に制作する。 ・人体の骨格や比例にあわせて心材に粘土つける。 ・アクリルガッシュで本物のようにリアルに着彩する。
	2	
	3	

評 価

<評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
 - ・授業に楽しく、意欲を持って熱心に取り組む（授業態度など）
 - ・授業の準備や提出物、期日までに作品を提出する。自分の制作に必要な物を自分で考えて準備する。（提出物）
- ② 発想・構想の能力
 - ・自分の気持ちや思いを作品に表現する（作品・作業記録表・アイデアやレイアウトのプリント）
 - ・自分独自の構成を考え、よりよい作品にするために工夫する。
- ③ 創造的な技能
 - ・自分の思い通りに表現することができるようにする（ノート、作文など）
 - ・より高いレベルを目指して作品に取り組み、丁寧に仕上げる。（作品途中の評価、作品の完成度、工夫・努力）
- ④ 鑑賞の能力
 - ・鑑賞の授業に積極的に取り組む。（作業記録表、鑑賞プリント）
 - ・日本や世界の美術作品や作家を調べてレポートにまとめる。
 - ・自分の作品や活動を自己評価し、次回への課題を見つけようとする。

<評価の方法>

・毎時間の授業への取組、作品の完成度・工夫・努力、鑑賞プリント、作業記録法、アイデアプリントなどの学習活動を基にして総合的に評価する。
4つの観点のポイントを意識して、経験と努力を重ねていくことが、力を伸ばすことにつながります。

作品の評価

- 5 よく工夫され、丁寧に仕上げられた完成度が高い作品
- 4 よく工夫され、丁寧に仕上げられた作品
- 3 自分なりに工夫され、仕上げられた作品
- 2 作品制作に取り組むが、努力を要する
- 1 作品制作に十分取り組むことができず未完成、未提出。

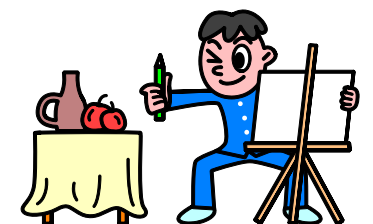
学期	提出物
1	・クロッキー作品、スクラッチグラス作品、作業記録表、プリント
2	・美術館レポート・風景画（夏の課題）、グリーティングカード作品 作業記録表、プリント
3	・立体作品、作業記録表、プリント、

授業中
①授業の準備をしつかりする。
（道具や材料の忘れ物をしない。チャイム着席するなど授業の約束を守る）
②目的と意欲をもって授業に臨む。
学ぶべきところを学ぶ、高めるところは磨く。積極的に取り組む。
③創意工夫して作品の完成をめざす。



復習
取り組んだ作品が決められた期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」、自己評価する。
（遅れている場合には、できる作業を行う。）

*自分以外の作品や教科書の作品をよく見て、よさを感じる心や自分もやってみたいという気持ちを持ちましょう。



※ 安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守りましょう。